

令和8年度 洋光台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
洋光台は住宅地（集合住宅と戸建て）と洋光台駅周辺の商業地からなり、高齢化率は31.7%と磯子区内で一番高い町となっています。高齢者世帯（単身世帯を含む）の割合も高く、消費者被害も多いことから、見守り支援など地域での支えあいの体制が課題となっています。もともと地域活動が活発なエリアでしたが、コロナ禍やメンバーの高齢化、時代の流れもあって、終了や解散など色々難しいことが出てきています。また、エレベーターのない集合住宅や坂道も多く、高齢者や障害者の行動制限、脚力低下・フレイルの要因にもなっています。一方、集合住宅等には若い世代も多く、子育て支援や世代間交流の機会も必要となっています。 身近な福祉・保健の拠点としての役割を果たすためには、地域との連携が欠かせないため、積極的に地域に出向いて一緒に様々な活動に取り組むことで、地域との良好な関係を築きます。また、職員間・部門間の連携のもと、地域課題の解決、多様な個別相談対応にも力を入れていきます。新たな担い手の育成と活動創出が課題であると捉えており、今年度もそのための仕掛けや働きかけに取り組んでいきたいと考えています。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	民児協や自治町内会、UR団地くらしつながるサポーター、郵便局など関係機関との顔の見える関係を維持し、個別相談対応および地域事業の両面で協働する。
☒	☐	活動者や団体同士が交流できるような企画を実施し、お互いの活動の良さや課題を共有し合うことで、よりよい活動に向けた気づきや工夫を得られる機会とする。
☒	☐	長期的な地域の活性化と活動の継続を見据え、働き世代や若年層に対して地域活動への参加を積極的に働きかける。参加のハードルが低く、多世代が楽しみながら関われる企画を実施するとともに、SNS等を活用した情報発信により、新たな担い手の発掘につなげる。
☒	☐	西団地住民およびURの協力を得て、団地内の掲示板にケアプラザ広報誌や地域イベントちらしを掲示する。住民及び団地管理事務所職員にケアプラザの機能を周知する。春季に、両Coと包括看護師、UR団地くらしつながるサポーターと共催で、西団地集会所にてイベントを開催する。
☐	☒	多世代かつ多様な地域住民が関心を持つテーマで講座やイベントを企画・実施する。参加者同士の交流を促進し、つながりづくりの重要性を実感できる場とするとともに、地域情報の発信やケアプラザの周知につなげる。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
☐ 区からのコメント		